

【 第2回中標津町自治推進会議報告 】

日 時：令和5年11月21日（火）19:00～21:00

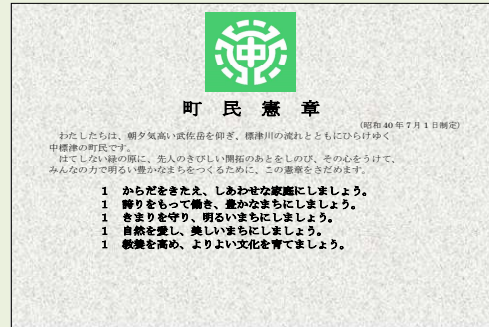
場 所：中標津町役場 3階 301会議室

出席者：12名（中標津町自治推進会議委員6名、ファシリテーター1名、事務局5名）

<会議次第>

- 1 開 会
- 2 会 長 挨 拶
- 3 議 題

町民憲章 唱和



- (1) 漫画制作について
 - (2) 学生（高校生）の参加について
 - (3) 町民ファシリテーターのお試し参加について
 - (4) その他
- 4 閉 会

<配付資料>

- ① 資料1：「町内会」編ラフ画他
- ② 資料2：中標津高校との打ち合わせ概要

<会議結果報告>

- 1 開 会
- 2 会 長 挨 拶
- 3 議 題

[進行：東田ファシリテーター]



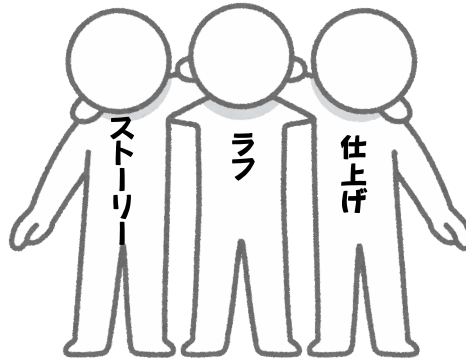
※議案に入る前に前回の振り返りと本日の課題確認

(1) 漫画制作について

委員

町内会編のラフを職場に持ち帰り、絵を描くのが得意な職員に清書をお願いしたら会議資料1-2のとおり仕上げてくれた。ただ、ラフを綺麗にすることはできるが、ストーリーや構成を一から考えるのは難しいと話しており、二か月に1枚のペースなら作成に協力できるとのこと。

「ストーリーを考える人」「ラフを描く人」「最後に仕上げる人」それぞれ分担できればスムーズに進む気がする。



委員

身近にこんなに絵が上手な人がいるとは知らなかった。仕上げの部分は期待できそうだが、前段のストーリーとラフを考えるのが難しい。

東田ファシリテーター

万に備え、著作権のルールについて事前に調べておいた方がいい気がする。

⇒事務局で最低限の確認

委員

それぞれ解説書を読み、現在候補としてあがっている「町内会」「情報共有」「町民参加」「協働」「町民活動団体」以外のテーマを考えてくることが宿題となっていたが、他のテーマが思い浮かばなかった。1つのテーマから数パターンのストーリーを考えるのもありだね。

委員

町民に自治基本条例を浸透させるためにはなぜ条例が制定されたのかという本質的な部分を最初にしっかり触れるべきではないだろうか。いきなり情報共有だとか町民参加といわれてもわからない気がする。

委員

他に町民、議会、行政のテーマがあってもいいんじゃないかと思った。

前期会議で子どもも読める条例の簡単版みたいなものがあればいいよねという意見が出ていた。

委員

テーマが多くてもストーリーを考えるのが大変だと思う。

条例の簡単版＝漫画になった気がする。けど、漫画にこだわらず写真をきりばりしたもので紹介するのもいいかもね。



委員

実際に予算は検討されているのか。

東田ファシリテーター

広報紙はスペースが割けないので、挟み込みを想定するとすれば10万円くらいかな。

来年度予算の検討時期はすでに終わっているの再来年度予算に向けて検討する。時期的には来年の10月なので、それまでに内容をかためておかないといけない。

事務局

お金をかけて有名な漫画家に依頼すればクオリティの高いものを作れるが、クオリティより費用対効果を重視してもらいたい。どのコンテンツを使うかよりも町民に何を訴えたいか、ストーリーが大事。

委員

漫画じゃなくてもいいんじゃないかな。例えば、町長の一日に密着して町長にはこんな責務があるんだと公表するだけでもいいと思う。

委員

条例を必要とする背景に町民が主体となってまちづくりを進めるということが謳われているが、コンテンツが何であれ「**町民が主体とはなにか**」を伝えるために一つ一つのテーマをかみ砕いて説明してあげないと行き詰まる気がする。

委員

以前、釧路新聞で釧根で活動する町民活動団体を月2回のペースで紹介していた。前期の委員で自分たちの所属する団体の活動を紙に書いて紹介し合ったことがあり、こういうのが自治だなと感じたのでそういう活動紹介みたいなものでもいいかも。

委員

町がどんなことをしている組織か町民が知るのも自治か？

東田ファシリテーター

それも一つの自治。ただそれは私たちの視点で、町民が自治だと感じるかは別。行政と議会は普段こんなことをしていますと発信してもそれがイコール自治であると町民側が理解できるかは難しいような気がする。

委員

どの企業にも自治はあるので、ゴミ拾いや防災訓練など若い世代にこれも自治だったんだと気づいてもらえるよう紹介するのもいいかもしれない。

委員

ターゲットを町民という広い枠にするか、学生に絞るのか考えておこう。

委員

高校生が理解できれば大体の町民にも理解してもらえるんじゃないか。

東田ファシリテーター

今日は一旦ここまでにしよう。沼に入ってしまったので一度立ち止まって、自治基本条例を町民に浸透させるためにどう広めるか（コンテンツは漫画でいいのか、誰をターゲットにするか）は次回会議で検討しよう。

（２）学生（高校生）の参加について

～事務局から会議資料２の説明～

事務局

12/12 中標津高校総合ビジネス科による課題研究発表会が行われるので、発表会を見たうえで12/19の5、6時間目に意見交換会の場を設けることは可能とのこと。ただ、授業の一環として時間を割いてもらうことになるのでこちら側もそれまでに質問事項や自治推進会議が入り込む目的などをしっかり整理しなければならない。

課題研究発表会とは別で、生徒会との意見交換の場を設けたいということであれば、生徒側が自治基本条例や自治推進会議についての勉強会などを何回か重ねてからじゃないと意見交換までもっていけないだろうとのことだったので、今年度すぐ実現という話にはならないと思われる。

委員

自治とかは置いといてまずは研究した課題に対して高校生がどのような考えを持っているのか話を聞いてみたい。

事務局

この総合ビジネス科の取り組みは研究結果よりも課題に対して自分たちで研究して発表するというプロセスを重要視しているので、発表した内容以上のことはお答えできないかもしれないとのこと。

委員

いきなり自治について意見交換となると総合ビジネス科の取り組みとは主旨がずれてしまうよね。けど、中標津高校と接点を作るという意味では発表会を聞きに行ってもいいかもしれない。

東田ファシリテーター

発表会に参加できる委員は参加しよう。

総合ビジネス科との意見交換の場はお断りして、生徒会との意見交換に向けてアプローチをかけていけるように動いていこう。

事務局

学校側には長い目で見て生徒会との関わりを持っていきたい旨伝える。

(3) 町民ファシリテーターの参加について

本間委員

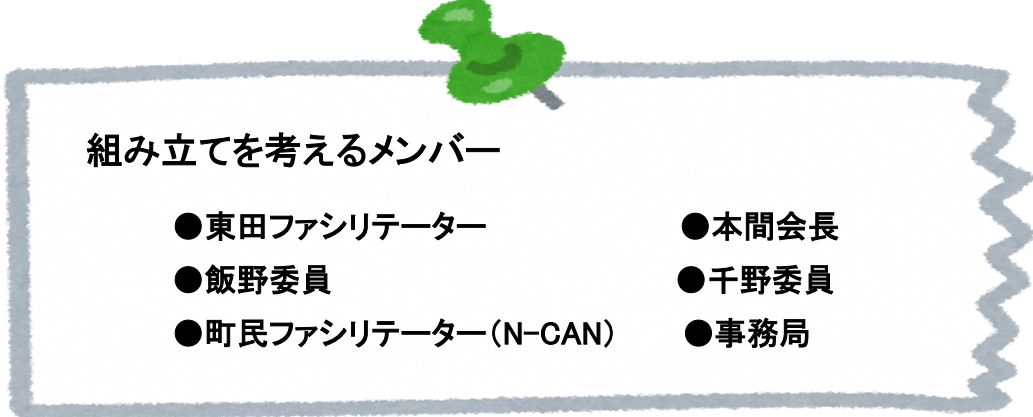
第3回会議からのお試し参加について N-CAN に打診したが、東田さんの役目を引き継ぐのは中々ハードルが高く、積極的にやりたいという方はいなかった。

東田ファシリテーター

お試し参加は諦める。

登録制度の話し合いは引き続き検討していくので町民ファシリテーターには今後も傍聴に来てもらいたい。

制度そのものをどう作るかこの場で話し合うために、どう提案すればいいのかまずは話し合いの組み立ての部分を「ファシリテーター」に関係が深いメンバーで考える。



組み立てを考えるメンバー

- | | |
|--------------------|-------|
| ●東田ファシリテーター | ●本間会長 |
| ●飯野委員 | ●千野委員 |
| ●町民ファシリテーター(N-CAN) | ●事務局 |

(4) その他

第3回会議日程 3月26日(火) 19時から

閉 会



まとめ

(1) 漫画制作について

- ・著作権のルールは事務局で確認する
- ・自治基本条例を町民に浸透させるためのコンテンツ、ターゲットを改めて検討する。

(2) 学生(高校生)の参加について

- ・中標津高校との繋がりをつくるため 12/12 総合ビジネス科の課題研究発表会に聞きに行く。
- ・中標津高校生徒会との意見交換会に向けてアプローチをかける。

(3) 町民ファシリテーターのお試し参加について

- ・町民ファシリテーターのお試し参加は白紙。
- ・登録制度の検討に向け、話し合いの組み立てを考える。